新京日日新聞 夕刊 十一月十五日

邪教ひとのみちの全貌

善良なる信徒よ迷夢より醒めよ

常識的には解し兼ねる暴露された内容

關東局當局談

ひとのみちに對する當局の取調べは着々進められつゝあるが、關東局警務當局は當局談の形式でひとのみちのインチキ極まる内容を左の如く發表した

人の道教團に就ては豫てより世上兎角の噂があり又屢々投書等もあつたので鋭意其の

眞相 を調査中偶々大阪府に於て本教團の創始者である所謂初代教祖御木徳一を强姦並强制猥セツ罪の被疑者として檢擧したのに端を發し一味の瀆職被疑事實が發覺し延ては教義の本質に觸れ其の邪教たる實證が逐次暴露せらるるに至つたのであるが當局に於ても本教團の「神示」と云ひ「神宣」と云ひ又は「おふりかへ」と稱し到底現代の科學、普通人の常識を以てしては解し得ないものであり又其の財政についても不可解な幾多の事例が判明したのみならず、世人を欺瞞する爲教育勅語を教義の主眼としてゐる如く裝ひ居れる點等に多大の疑問を存してゐる而して之れが今後の處置については未だ明言の時期ではないが本教團の内容は實に「インチキ」極まるもので今尚彼等一派の詭辯に迷ひ其の眞相を知り得ざる

善良 なる人々の迷夢より醒めざるものあるを思ひ氣の毒に堪へざる次第である

すつかり泥を吐いた教祖御木徳一

その昔は行者として轉々

御木徳一は明治三年大阪に生れ十二、三才頃より關東煮、燒芋屋又は郵便配達夫、御嶽行者等轉々として

流浪 してゐたものであるが十四、五六才頃に至り遽に靈感を受けたと稱して現在のひとのみちを考へ出したもので、巧に現世の人心の浮薄と病氣の爲め難儀してゐる人等の弱點を捉へ今日の如き獸慾と金慾の權化とも云ふべき大山師となつたるものであるが、彼は數年前から最近まで本教團で最も神聖な部屋として信者に渇仰されてゐる神符に神靈を込める所謂神靈室に於て豫て同人の部屋係又は神靈侍女係等として奉仕してゐた十二歳より十四歳位迄の純潔の少女十數名に對し、豫め上長の命令には絶對に服從すべき事、教祖は天人合一の生神樣なること等を教育し置き少女達が之を盲信したる頃を見計ひ數十回に亘り强姦及毎日の如く强制猥セツの行爲を爲した等誠に悪むべき不德漢である、流石の人非人德一も只今では此の

事實 に對しては彼一流の詭辯も弄するに術無く何とも面目無き旨陳謝してゐると云ふことである

不敬極まる教義

世人を欺瞞する爲教育勅語を教義の素本なりと稱してゐるが斯る獸慾と利慾を貪らんが爲教育勅語を宗教的に利用し冒瀆してゐるのみならず、更に之れが説明に當りて「明治天皇の御聖旨は教祖御木德一のみが理解し得るものであつて御木の教へは御聖旨其の儘なりと」稱し又所謂神訓中に示して下さるものと稱しての「みをしへ」と次に述ぶる此の如き其の一班に過ぎない

世人を愚弄するこのインチキ

みしらせ、みおしへ、おふりかへ

「神示」と「神宣」

人の世の凡有不幸、苦難は凡て神の下し賜ふ所で之を「みしらせ」と云ひこの「みしらせ」があつた場合には其の「みしらせ」の神意が何であるかを知り之を實行する事によつて苦難から免るる事が出來るのであるがそれが爲には神に對し「みをしへ」を願はねばならぬ、而して之に對し一々神意を知つて「みをしへ」を下さる御方を「をしへおや」と申し御木德一こそは即ちその「をしへおや」で吾々が人の世の出來事に對し迷を生じて惱む時如何なる場合如何なる事に對しても明確に眞理に立脚した解決方法を示して下さるものと稱してこの「みをしへ」と次に述ぶる

「おふりかへ」とを餌にして信者を獲得し新入教者に對しては先づ教話の初めに之を説く事に努めてゐるので精神的に惱み又は病氣に罹り居る者は之を唯一の目的に入教し所謂「みをしへ」を願ふのであるが其方法を見るに直接本部に出頭出來ざる者は支部の教師に對して氏名、年齡、係類等を申立てたる後其の惱み又は病狀等を訴へ教師は之を圖示して本部に送り本部より之に對し一種の暗示的な簡單なる「みをしへ」を下し之を教師が數術説明して欺瞞するのであるが斯るインチキに依て病氣等が治癒する筈考へ一切の醫藥をすてて信じ入る等常識を以てしして明かな事にて而

(ロ)「おふりかへ」

この「おふりかへ」と云ふのは總ての不幸、災難或は病氣等を教祖や准教祖の身體に一時振替へる事により一切の苦難から脱し得ると云ふのであつて例へば肺病に罹つた場合に此の「おふりかへ」を願へば立所に肺病が治り或は將に汽車が顛覆せんとする際に只一言「おふりかへ」と念ずれば命が助かると云ふが如き迷説であるが斯る迷説が到底常識を以て判斷する事が出來ないのは萬人が首肯する處で

國事多端なる秋信徒よ醒めよ

全滿の各地は殆ど解消せり

然し乍ら本教が内に悪逆不逞を敢てし外に巧に敬神尊皇、教育勅語等の

美名 にかくれ救世濟度の宗教と唱へ凡有方面より人間の弱點を捉へ金錢搾取の具に供し風俗を紊亂し人道上許すべからざる數々の害毒を流す外何物も無き邪教である事は最早一點の疑も無い、幸にして在滿の各地に於ては大部分本教の邪教なる事を悟り自然に解消せしも一日も早く正常なる意識を回復し斯る迷夢より醒むると共に將來斯るインチキ的邪慾に利用せられざらん事を切に希望して止まざるものである、國家内外多事多難國民擧げて緊張努力すべきの秋殊に幾十萬同胞が國防第一線滿蒙の野に於て苦闘し

奮勵 してゐる際かかる不德漢の一掃を期して一言した次第である

献金に名を藉り信徒から搾取

而かも國家の爲と稱して

本教團の金錢搾取については寶生箱、特別献金、借金政策等極めて巧妙に行はれてゐるが就中寶生箱に就て述ぶればこの寶生箱は入教と同時に

各人 に渡さるるもので記名式とし其の横側には「世の爲人の爲各自の自覺に訴へ積極的の淨財奉仕を希望する云々」と美辭を連ね毎月必ず神前に獻納する事を要求してゐるものであるが、神社等の賽錢箱と異り記名式としたる點に巧妙さがあり各自の競爭心を誘發する方法と認めらるるが、更に一教師の告白する處に依れば彼は寶生箱獻金に對する説明として「寶生箱は教祖が神と誓つて自ら其の壽命を十年短縮して「まこと」を以て入れた信者に對しては後に至り數倍數十倍となつて還つて來る事を神と約束が出來てゐるので大に國家の爲金を入れるやう」云々と稱して金慾亡者に

献金 を唆かしたと云ふことであるが

この一端を見ても如何に彼等の金錢搾取手段が悪辣であるかを知り得るのである、之が爲信者は競ふて献金し現に大連支部より大阪本部宛の送金を見ても昭和十年には三萬二千六百餘圓と云ふ多額を送金し更に本年に入りて十月末既に三萬三千三百餘圓を送金してゐるが一支部の送金のみにても此の如くなるを以て全國より集る毎月の欺金は蓋し想像に値する、而して此の一種の欺僞に依る寄附金、否國家の爲と稱して献金せしめた大金を果して如何に使用してゐるか、御木德一を始め數名の本部インチキ師以外何人も知る由無く不可解此の上も無き次第であるが最近奉天に於ける取調に依れば

熱河 に於ける彼等一味の鑛山買收等に相當額使用せられた例などもあり邪教の正體現はれたりである

かもこの「みをしへ」なるものは之を極秘とする事を申渡し親子、夫婦の間にも秘密にせしむる等其のインチキの眞相の露見することを豫め防いでゐる爲如何に多くの人々が迷はされて居たかは全く想像の外で其一例を示せば新京の或る婦人は下の方の病氣に罹り「みをしへ」を願ひたる處「それは夫婦の道を完全に行はないから」と云ふ「みをしへ」があつたので之を信じて實行した爲病氣は益々悪化して遂に歩行さへも困難になつたと云ふので警察に對して訴へ出た珍談がある、又或る地方に於ては子供の病氣に對し「みをしへ」を願出た處之亦「夫婦の道を行へ」と云ふ「みをしへ」が下つたので危篤の子供の看護を他所に之を實行し遂に可愛い子供を失つた後始めて其の迷夢から醒めたと云ふ告白があり其他之に類する實例は枚擧に遑が無い位である

あるが、教師等が盲信者に對し「教祖や准教祖が病氣をせらるるは多數信者より「おふりかへ」する爲であり毎月廿六日本部に於て「おふりかへ」祭を執行し之の病氣を更に神に「おふりかへ」する爲である更に又今回御木德一の檢擧を指して「教祖は多數信者の色々の不幸を「おふりかへ」する爲其の災難を一身に只今信者に代り累世の受け居らるるものなりと稱するに至つては寧ろ人を愚弄しきものと云ふべきである而してこの「おふりかへ」に對しては德一も始め不能な事を承知して信者を釣る奸策にして取調官は勿論でありと申し居たる旨を述べ泥を吐いてゐる

政府借入金を公債に整理公債法制定

十六日附勅令公布さる

滿洲國は公債の民衆化を圖り公債政策の運用を圓滑ならしむる爲現在滿洲中央銀行よりの政府借入金を公債に借換へる爲整理公債法を制定來る十六日勅令を以て公布さる

整理公債發行規定

財政部は整理公債發行規程を左の通制定す

第一條 政府は整理公法に依り公債三千萬圓を發行し之を第一次四厘公債と稱す

第二條 本公債の證券は無記名利札附とし其の額面金額は百圓、千圓、一萬圓及十萬圓の四種とす

第三條 本公債の利率は一箇年百分の四とす

第四條 本公債の發行價格は額面金額百圓に付九十五圓とす

第五條 本公債の元金は康德十三年十一月二十日迄に額面金額を以て之を償還す政府は何時にても本公債の買入銷却を爲すことを得本公債の一部償還は抽籤の方法に依る

第六條 本公債の利子は發行の翌日より償還の日迄之を附し毎年五月二十日及十一月二十日に於て各前六箇月分を支拂ふ但し償還の場合に於て六箇月に滿たざるときは其の半箇年の日割を以て計算す償還期日後は利子を附せず

第七條 本公債の元利金の支拂事務は滿洲中央銀行總分支行に於て之を取扱ふ

第八條 本公債の元金を償還せんとするときは其の金額期日其の他必要事項を政府公報及新京、奉天、哈爾濱大連に於て發行する新聞紙に公告す

本公債の買入銷却を爲したるときは其の證券の種類、番號及總額を前項の公報及新聞紙に公告す

附則

本令は公布の日より之を施行す

星野財政部次長談

今回制定せられたる公債法は政府が建國以來政府事業或ひは政府投資のため滿洲中央銀行よりの借入金に依つてゐたものを公債に借換へんとするものであつて政府は右に依つて先づ第一次三千萬圓の公債を發行し滿洲中央銀行をして引受けしめこれを適當の價格にて民間に賣出し公債の民衆化を計り政府の公債政策の運用を圓滑ならしめんとするものである、公債の條件に就ても前記民衆化の趣旨から現在滿洲の經濟狀態を考慮してこれを定めたものであるがその流通及び公正なる價格維持に就ては滿洲中央銀行に於ても充分の努力を拂ひ公債所有者の必要に應じ何時にても買入れ又は金融に應じ便宜を計る等である、今後滿洲國の產業開發の進展に伴ひ政府はこれが所要資金を公債に求むるものも漸次あるものと思ふが一般民間に於かれては右政府の遂行を援助する意味に於て今後進んで滿洲國公債に對する投資をなされんことを希望する次第である

中央銀行當局談

十六日整理公債法及び之に關する財政部令が公布されるが本公債は當行の政府貸上金を償還整理すると同時に公債の民衆化を圖り公債政策の運用を圓滑にする事を趣旨とするもので先づ第一次四厘公債三千萬圓を發行し漸次五千萬圓迄發行される事になつて居る我國に於ける既發公債の分布を見ると大部分は當行の所有に屬して居り其の一小部分だけが二三銀行及び特殊の公共團體等に所有されて居るに過ぎない素より民衆の手に在るものの如き云ふに足らぬ狀況である、これは建國早々であり樣々の事情に依つたものであるが併し今後は出來得る限り公債の一般化を圖る可きで、これが達成は我が國策遂行といふ大きな立場からも重要な意味を持つものと思ふ只我國に於ては證券取引の發達が尙充分で無い從て公債についても公正なる價格を作つて其の流通を滑めらかならしめると云ふ機關は備つて居ない譯で此點甚だ遺憾である、仍て當行としては此の過渡期に處する一つの對應策として公債の賣買に應じ其の公正なる價格の維持に努める樣にす可きであると考へて居る、勿論當行の公債賣買は從來からも行つて居り今回初めて扱ひ出したと云ふ譯では無いが今回の整理公債については特に普及といふ點に留意して、總行のみならず全國の主要分支行に於ても簡易且つ迅速に之が取扱を爲す事にした

斯くて當行としては政府の方針に從ひ努めて公債の一般化を圖り公債取引を助成し延いて公債市場開設の機運をも促進する事に貢獻したく考へて居る次第である

整理公債法

第一條 政府は滿洲國中央銀行よりの借入金償還整理の爲五千萬圓を限り公債を發行することを得

第二條 本公債發行に關し必要なる事項は財政部大臣之を定む

附則

本法は公布の日より之を施行す

その日〳〵

□

黒暗緊張の一夜が過ぎて、冷氣は烈しいが爽快な心情で迎へたこの日！

□

大安と七五三が重なり、季節らしい寒さを、嬉しい思ひ出に重ねる人たちもあり

□

傍觀者を慄然たらしめるやうな、邪悪宗教のインチキさが暴露された

□

この際必要なのは、大衆の生活に確固たる據り所あらしめることである

□

觀念的な高説よりも、實際生活を强靱にし昂揚させる具體的なものが待望される

人事往來

（着京）

▲菅原電藏氏（會社員）日本京ヤマトホテル ▲近藤徹氏（滿鐵）同 ▲荒井縣氏（今井組）同 ▲北村德太郎氏（内務省）同 ▲道永悌三氏（會社員）▲田邊秀雄氏（關東州廳部長）同國都ホテル ▲川上一郎氏（會社員）▲増谷憲信氏（富士洋行）▲濱口德範氏（請負業）▲渡邊義一氏（奉天電通）▲守尾博氏（農林省）▲篠畑初太郎氏（官吏）▲中山滋氏（鐵道總局）▲江崎義人氏（鐵道建設）同 ▲中瀬覺次郎氏（帝國馬會）同 都ホテル ▲樋口親藏氏 同 ▲三島輝善氏（同）同 ▲高田政吉氏（大和染料）▲犬飼元信氏（同）同 ▲小山和吉氏（商人）同 ▲松浦一雄氏（大林組）▲和新館 ▲本田俊三郎氏（自動車）▲金子買氏（同）同 ▲江草只雄氏（軍人）同 ▲丹下郁太郎氏（朝鮮總）▲田中末雄氏（船舶業）▲山内基信氏（貿易商）▲成田晴記氏（會社員）▲屋井鎭雄氏（康德學院）同 ▲竹内忠夫氏（商業）同 ▲福原靜雄氏（大連商工）所）同富士屋旅館 ▲吉田良一氏（官吏）同 ▲油野友治氏（同）同 ▲田村秀雄氏（滿鐵）同

乳房ある悲み（百九十八）

中西伊之助

いよいよ本格的の寒さ國都を襲ふ
今朝最低氣溫零下十三度七
これから日一日と寒くなる

例年に比べて遲れてゐた國都本年の氣候は十四日頃からいよいよ本格的の寒さが襲ひ十五日午前五時から七時頃までの氣溫は零下十三度七に降つて道行く人々は鼻の頭を赤くしオーバアーの襟を立てゝ縮みあがつた、しかしこの寒氣は新京としては漸く平年の軌道に乗つたまでゞこれから日一日水銀柱は下るものと見られる、なほチチハルは十五日朝零下二十四度に下つた

負傷警官に 滿鐵から葡萄酒

安奉沿線地區剿匪討伐に出動し名譽の負傷をなし目下新京滿鐵醫院に入院中の范家屯署柳田警部補、新京署筒井巡査に對し滿鐵新京事務局田中地方課長は十四日紅白の葡萄酒を贈つて慰めた

園部部隊奮戰

園部々隊發表ー

△牛島討伐隊の渡邊部隊は十一日寛甸縣第五區において警國匪約百と遭遇、交戰二時間にして匪賊に多大の損害を與へ潰滅せしめたが、右戰鬪において上等兵北野竹四郎戰死、兵一負傷

△岩永部隊は去る十二日興京縣第四區第七區の區境山岳地帶において成國軍、海字匪等の根據地を發見、激戰の後これを覆滅し上等兵神戸重信は名譽の戰死を遂げた、匪の損害、死三十六、捕虜十七、人質奪還二十九

張總理一行歸京

奉吉沿線および奉天附近の政情視察中の張國務總理大臣は十五日午後五時廿分着"あじあ"で歸京の豫定である

日滿商事 主任更迭

日滿商事會社公主嶺出張所主任青木太郎氏は今般新京支店庶務係主任に榮轉、家族同伴赴任した、尚後任は錦州より島田斯文氏が着任各方面に就任の挨拶をなした

滿洲國小學校 卓球大會

第三次滿洲國新京小學校卓球大會は十五日午前八時から大經路兩級小學校講堂で華々しく擧行された、參加校十二校出場選手高級男子組五十五名同女子組四十名、初級男子組六十名、同女子組四十五名、試合に先立つて入場式あり優勝旗、優勝盃を返還、御影敬禮、國歌奉唱に次いで校長開會の辭を述べこれに對し選手代表の宣誓あつていよいよ高級男子組文廟小學校對大經路小學校の一戰に火蓋を切つたが、都下十二校の優秀選手が一堂に參集し覇を競ふ冬季競技の華本大會に觀衆場に溢れ選手また母校の榮譽に賭けて何れも凄まじい熱戰が展開された、なほ出場校は次の通りである自强校、大經路校、長通路校、文廟校、東盛路校、西四道街校、西安橋校、龍王廟校、大同街校、孟家校、曉鐘校、寬城子校

荒川文六博士 九大總長に決定

【福岡國通】十四日行はれた高山九大總長辭任に伴ふ後任總長選擧の結果工學部教授荒川文六博士が最高點をもつて選ばれ第六代九大總長に決定した

子供は風の子 七·五·三詣で
午前中だけで百五十名

けふ大安の吉日、寒風ちよつと身にしみたが日曜と晴天に惠まれて、晴れ着を着飾つた七五三の坊つちやん、お孃ちやんが母さま、父さまにお手て引かれ新京神社にお詣りしてかへりにおみやげ戴いて記念寫眞を撮つて樂しくかへるものが朝から引つきりなし、午前中だけでも百五十名位はあつたらう(寫眞は新京驛で)

けふは大安 七組の結婚
大賑ひの新京神社

十五日は新京神社の大當り日朝から七五三のお詣りが多く午前午後を通じて三百名の七五三參りありその上正午から午後六時まで左記七組の神前結婚式が行はれた

▲特別市大同大街千百一號石白二三夫氏(三三)豐樂路七百十三號杉山たき代孃(二六)▲住吉町二丁目六番地三野正昌氏(二九)ハルビン綾村信子孃(二〇)▲特別市東光路三百一號山崎尊氏(二六)吉野町大町多子孃(二〇)▲和泉町三丁目白山寮山本德一郎氏(二七)露月町一丁目一號波多野淑子孃(二一)▲瓦房店櫻井榮朗氏(二九)花園町四丁目五十三號雲林トシ孃(二四)▲特別市豐樂路百五號津田逸治氏(二八)櫻木町五丁目三富ノブ孃(二二)▲牡丹江小野長藏氏(二九)吉野町一丁目二十二番地御手洗ダイ孃(二一)

あら手の 保險金詐欺

【安東國通】僅か二千圓の保險金ほしさから同僚を拳銃で射ち、しかも犯行を匪賊の行爲と見せかけやうとした奇怪な事件がある

龍江省克山縣大安鎭寫眞業高柳虎吉方、靜岡縣生れ坪井正(二五)住山英三郎(二九)の兩名は牛島部隊に寫眞師として從軍し安東省寛甸縣に入つてゐたが、十三日同縣毛甸子において皇軍と別れ近道をして歸る途中住山が疲勞して動けないのを奇貨とし同行の坪井は「助けを呼んで來る」とて住山と別れ再び背後より忍び足で近づき所持せる拳銃で住山を狙擊、昏倒するをみるや「匪賊に襲はれた」と急を皇軍に告げ犯行をかくさんとしたが、幸ひにも住山は一命をとりとめたので坪井の行動に多大の疑惑の眼が向けられ、十四日前記兩人とも安東に護送され住山は壽泉堂病院に收容加療する一方坪井を安東署に引致嚴重取調べた結果十數日前安東ヤマト旅館において前記高柳虎吉から密かに坪井が拳銃を手に入れたことが判明、兩人の從軍に當り高柳が「討伐は危險だから」とて住山に千圓、坪井に千圓の保險をかけたことよりみて、保險金欲しさに高柳、坪井兩人諜し合はしての兇行とみられる

燈火管制に背く 不德漢檢束さる
撞球業昌進堂主

全市民が協力一致緊張してやつた防空演習に一人の不德漢がこの統制を亂さんとした、それは百灑街五〇二番地喫茶菓子、果實、撞球業昌進堂小野兵一(四〇)と云ひ警戒管制はおろか非常管制にもあかあかと點燈して居るので防護團員警察官等が再三注意したが頑としてきかず通りかゝりの民衆も此の不眞面な態度に共にその非をなじつたがきかず遂に口論となり群衆は非國民だと激昂し出したので防護團員は統監部へこの旨電話し統監部では早速新市街憲兵隊員を派し反省をうながしたが聽き入れぬので檢束したがこの男は過日の豫行演習の時も管制せず係員に懇々注意された事もあるので統監部では皆が努力して懸命にやつて居る時一人の爲めに係官はじめ三十萬市民の協力した努力を水泡に歸せしむるが如きかゝる自己勝手の振舞は許す可からざる不謹愼であると遺憾に思つて居る

非常管制をねらひ 忍び込む邦人 新京署に捕はる

これはまた同夜非常管制下の市中で窃盜の現行犯を司法係員が逮捕本署に引致嚴重取調べの上身柄を留置したが、右は元滿洲國某機關に勤務してゐたことのある石川五右衞門(三三)—假名—といふ邦人で窃取した品物は僅かであるが、全市民總動員の燈火管制下でかゝる犯行は最も憎むべきであると係官は語つてゐる

荒井同盟社員

【東京國通】同盟通信社大阪支社寫眞部長荒井末吉氏は豫てより心臟炎を患ひ阪大病院小澤内科に入院加療中のところ十四日午前一時二十分逝去した、享年四十二歲、葬儀は十五日午後三時に行ふ筈である

獨又も爆彈宣言
「國際河川條項」の廢棄を通告

【ベルリン十四日發國通】ドイツ政府はヴエルサイユ條約第十二篇第二款第三章、第四章國際河川に關する條項ならびに第十二篇第六款キール運河に關する條項を廢棄する旨に決定十四日關係各國政府へ通達したが、みぎ通告において劈頭まづライン、エルベ、オーデル、ダニユーヴ等に關する國際委員會ならびにキール運河に關するヴエルサイユ條約の規定がドイツ主權と相容れぬ點を强調しかつみぎ各河川および運河に關する現行制度の不都合を指摘したのち次の如く述べてゐる

ドイツ政府は主權回復の見地よりドイツの水域に關するヴエルサイユ條約ならびにこれに基き決定された現行諸取決めを廢棄する、よつてドイツ政府は國際河川委員會に對する協力を最早停止し代表者の引揚げを行ふ

一方ドイツ政府はこれら河川に對する今後の方針をこゝに闡明する、すなはちドイツ船舶と外國船との間に差別を設けず、一樣に航行税を徵收する、ドイツ政府はそれぞれ自國領土内の内地水路を航行するドイツ船舶に對し同樣の特權を賦與されることを

希望

する、さらにドイツ政府は本國當局者をして隣接國の關係當局と協議せしめ共通の水路問題に關し情勢に適合した協定を締結する用意を有する

長春から新京へ 第二世物語り(四)
親は料亭若芳館を經營 子は新京犬猫病院主田島氏

(上)

開業獸醫としての新京犬猫病院長田島義次氏は單に新京に於けるこの斯界の重鎭たるのみならず、所謂長春第二世中では先づ異數な方であらう、それだけん相當波瀾ある歷史を過去に持たれてゐるが、そこに貫ぬかれてゐるのは氏の持つ一本氣な理想であり純情であると思はれる、元來氏は料理屋兼旅館業と言ふいはゞ

水商賣の家に

生長したのであるが、氏の潔癖性と言ふか理想家肌の性格には少年時代から家業を厭ひ肩身を狭くした想ひは筆舌に盡せないものがあると言ふ、かゝる場合の氏の心境は充分理解出來得るところであるが、何が後を父祖の業とはおよそ縁遠い現在の職業に至らせてゐるか話は自然父親傳治氏に溯る、傳治氏は熊本縣天草の出身で日露戰役に從軍して來滿したが、戰役がすむとそのまゝ現地に踏みとゞまつた草分け組のまたその元祖とも言ふ可き一人である、以來營口、撫順、遼陽、奉天、哈爾濱と料理店を開業しつゝ未開地開拓の先驅者たる使命を果しつゝ進出して行つたのであるが、その間哈爾濱にては日本人料理店旅館として第一番乘りをしたとの事であり

日本人の生活

には切つても切れぬ縁のある疊をはじめて同地に輸入したのは實に父親傳治氏であるといふエピソートがある、この旅館は當時滿鐵重役等の絕大な後援があり北滿館と稱し、階上階下百疊敷の豪華を誇つたものであつたが、有名な全滿ペスト恐慌の余波を崇つて不幸發展をみせず、明治四十四年長春に引上げのやむなきに至つた最初は東公園—現在の記念公會堂、長春座正金裏一帶がさうだつた—附近に若芳館を經營、その後三笠町四丁目現在の天慶園所在地に移つた、當時此處は畑の眞中の一軒家であつたが、此の家に就いては面白い因緣がある、といふのは今は大連で靜かな余世を送つてゐるとのことであるが

當時滿洲馬賊

の總頭目として隱然たる勢力をもつてゐた某氏といふ國士の一人が長春繁榮策の一助とも言ふ可き意味をもつて天下御免の大賭博場を開帳してゐた所ださうである、後に名をあげた天龍とか天鬼とか謳はれた日本人頭目も當時は〇〇氏の驥下であり、父親傳治氏が知遇を受けてその場所を讓り受け

若芳館經營中

も〇〇氏はしばらく滯在してゐたとのことであるが、身をすてた國士浪人の群れが釀すかゝる雰圍氣が多少とも物心ついた時代の田島氏に何事か影響を與へずにはおかなかつたであらう

長春第二世とは言ふものゝ義次氏は明治三十二年鄉里天草に生れ、來滿は同四十二年、父親傳治氏が奉天時代である小西邊門の公立奉天小學校を出て、鄉里に歸へり天草中學に入學在學三年にして再び長春時代の父母の膝下に歸つたのは大正三年、たまたま二十一ケ條々約の紛爭による日支交涉決裂の危機に際し、居留民會では義勇軍がはじめて組織せられた、氏は同軍の一員として四戶團長の統率の下決死の覺悟で東公園に待機し、十分、五分、三分と刻まれた最後の通牒を待つた一人だ、幸ひ此の時は事なきを得たが感銘は終生は忘れられないところである、かくして再び東京に遊學海城中學を經て麻布獸醫專門學校に入學、滿洲大陸に牧場經營の希望に燃えて勉學三年、その間終始級長として教授、同窓の信頼を得前途を囑望されつゝ大正十年卒業したが、なほも拓殖大學に入學してその上大陸經營の研鑽を積まんとしたが、不幸同年七月父親傳治氏の訃を聞きやむなく退學して歸春した、同年十二月徵兵檢査に合格一年志願兵として久留米獨立三步に入營十二年四月

滿期除隊した

然し前述べたる如く家業を繼續する意志は全然なかつたので大正十三年八月にはじめて東四條通りに獨立獸醫を開業した、勿論新京に於ける開業獸醫としての開祖である

(寫眞上は先代傳治氏下結婚當時の義次氏)

大村總局長動靜

京圖線視察の大村鐵道總局長は十五日午後六時三十五分新京着、同八時五十分發南下の豫定

街の日記

小林畫伯個人展

滿洲寫生旅行の途次當地に立寄つた小林萬造畫伯の個展が十五日(日)十六日(月)の二日間、軍人會館二階十號室で開催せられることとなつた、同畫伯は故黑田淸輝子の門下、白馬會同人で曾つて佛蘭西に留學、巴里のアカデミーに於いて研鑽を遂げた人で現在東京洋畫壇の錚々である今春は特に秩父宮殿下より信

あす(十六日)

▲赤十字デー第二日
▲防空演習講評、午前十一時滿鐵事務局會議室
▲全滿居留民會聯合會、第一日午前九時、記念公會堂
▲觀光協會寫眞展、三中井百貨店
▲三中井スタンプ展第一日、同店ギャラリー
▲小林萬造畫伯個展、軍人會館
▲新人演藝大會第一夜、午後六時、公會堂

※…今晚の主なる演藝放送…※

▲六·三〇新内「明烏夢泡雪」(東京)富士松綾瀨太夫 ▲六·五五大衆演藝の夕(東京)(大)春風亭柳橋外大ぜい

天氣と氣溫

明日の天氣　北の風晴
日の出　前六時三五分
日の入　後四時一二分
月の出　前八時二七分
月の入　後五時二三分
けふの氣溫　最高零下五度三　最低零下十三度七

新京新人演藝大會 愈よ明夕開演 六時より公會堂で

第一回オール新京新人演藝大會は既報の如く新京放送局並に滿鐵社會係後援の下に民衆藝術への華やかな先導的役割とはち切れんばかりの待望を擔つて愈よ明十六日夜六時より二日間に亘り記念公會堂において開催されるが、出演者は先頃本社主催の下に行つた演藝放送新人當選者を中心とした在京アマチユアーを總動員する多彩な顔觸れで、プログラムも夫々得意の演しものを撰りすぐつた十五種の豐富な陣容が盛られてあり、この總花の賑ひこそ寂寥たる國都伎藝界に多大な刺戟を及すものとして期待される、左に引き續き出演者の顔觸れを紹介する。

8、落語「品川心中」 懷一平
曙から出た帮間の草分けである、お客が野暮で看板をおろして牌肉の嘆に堪えないところをひつぱり出した、江戸落語のサッとした耳さはりを充分にたのしんでいたゞく……。

9、常盤津「三ツ面子守」 德永八重子
前出中川さんと一緒に藤間のお弟子、大會を目捷にひかえて火の出るやうな猛烈なおケイコ中である。

10、スケッチ「カフェーの殺人事件」 ぶどう座
最近産聲をあげた市民劇團さてどんなスケッチがみられるか、色んな意味でたのしみにしてまてるもの…。筋の面白さも手傳つて大向ふがドッと來ることうけ合ひだ。

11、小唄「本場磯節」 清水すえ
清水すえは本名で、鯉川から出て居る戀香さん、本社新人放送當選でその美聲が全滿にひびいて居る。本場磯節の味はひをかみしめて貰ふ。

12、コメディー ルスキーホール ヤルワホフ外十一名
色彩の點で恐らく本大會の出色となるもの、俳優が觀客席から飛び出したり、とに角とんでもないコメディである。明朗なぶざけである。御期待を願ふ次第だ。

13、小唄振り「初雪」 花柳壽美太郎
曙の錦花、どつちにころんでも有名なひと、この人の踊りは何といつても國都隨一である。敢て出演を願つた所以……。

14、ファース「與太者と秋」 新劇研究會
「與太者と秋」これだけで何か愉快さうである。解説は蛇足であらう。兎も角も、企圖した側で、全力を傾倒した點は變化である民衆藝術の眞摯な提唱であり果敢な實踐だ、熱烈な期待がつながれる。

けふからの"大菩薩峠" 朝日座

朝日座十五日よりの番組は左の如く日活三番線にユナイトの二番線を配した三本立編成である

▽日活京都「大菩薩峠」第一編 中里介山居士の原作第一編甲源一刀流の卷の映畫化で、三村伸太郎、武田寅男、稻垣浩の共同脚色により稻垣浩と山中貞雄とが共同して監督に當つた、大河內傳次郎、黒川彌太郎、入江たか子の他日活オールスターキャストを動員、机龍之介の邪劍が島田虎之助の正劍に遇つて遂に心眼を開くまでの經緯を收める、キヤメラは谷本精史、松村禎三、竹村康和の擔當である

▽ユナイト「ダグラスの世界一周」 一時余で世界を一周する寫眞で日本からは上山草人と高尾光子が顔を出してゐる

▽協同映畫「多情佛心」 阿部豐の監督する作品で岡讓二、江川宇禮夫、逢初夢子の主演

梨花女專の音樂の夕

朝鮮梨花女子專門學校巡廻音樂團主催「音樂の夕べ」は明十六日夜六時半より西廣場滿鐵倶樂部において左のプログラムにより開催される

一、合唱 グリークラブ
二、ピアノ二重奏 劉光國・全寶鎭
三、三重唱 崔永愛、朴奉姬、韓一順、張惠善、李宜英、李慶姬、金信福、金仁淑、洪恩惠
四、獨唱 梁允永
五、ピアノ獨奏 尹恩姬
六、合唱 二、三學年
七、獨唱 崔永愛
八、合唱 グリークラブ
九、ピアノ二重奏 韓一順・李慶姬
十、二重唱 朴奉姬・李宜英
十一、ピアノ獨奏 金信福
十二、獨唱 李慶煥
十三、合唱 グリークラブ
十四、校歌
指揮……尹聖德
伴奏……李有淳

仙人掌

「くさぐさの思ひ出秘めし丘の上に散りしく木の葉我れ一人ふむ」——これは文藝の原稿が間違つてこつちへ來たのではありません、今度新京會館にこの歌の作者富永種子さんが現はれましたので一寸御紹介する次第です▼彼女はだいぶん以前にはキャピタルにゐた事があるのですがその後奉天の明星にゐて、更に吉林を經て新京に歸つたわけです 相當に浪漫派の人物であることは上記の歌も示してゐませう、をどり方は仲々柔かであります

雑音

映畫館も燈火管制に備へて「今晩も平常通り」と言ふ、正に非常時であるに相違ない▼日曜日を控へて「明日は是非私のところへ」と言ふ、そして早朝割引までして御機嫌をとり結ばねばならなくなつた▼月半ばとは言へ活動屋さんの此の頃はせち辛くなつた▼「テキサス決死隊」「コンゴウ部隊」ともに豫期に反して客足薄く聊かへタつてゐる樣子、依然朝日座の入りがよく長春座がやゝ持ちこたえてゐる

九星

十一月十六日 月曜 丁寅 赤口 平 心宿

●一白の人 運氣分れ目に立つ日新事業は殊に見合すべし 申と庚と辛が吉
●二黒の人 妄りに心を他に動すは却て失敗を重ぬべし 乙と壬と癸が吉
●三碧の人 果斷決行すべき日但し商事の駈引には注意 丁と辛と壬が吉
●四緑の人 空想を去り苦より樂に入らんと心掛くべし 丙と丁と辛が吉
●五黄の人 思ふ通りに行かずとも愚痴を云はず勵む事 甲と乙と丁が吉
●六白の人 心を圓くし德を積む時は邪氣自ら退きて吉 乙と申と辛が吉
●七赤の人 日常の小事にも細心の注意を拂ひ愼重たれ 甲と申と戌が吉
●八白の人 臨機の働きを爲すべき日頑迷なるは損あり 丙と辛と癸が吉
●九紫の人 內を能く守る時は漸次發展を遂じべき吉日 丙と丁と壬が吉

風流小唄侍

阪妻プロ映畫、原巖の原作により御舟仲が脚色、沖博文が監督に當つた作品である、阪東妻三郎の他に岡田喜久也、中村吉藏、柴山梅太郎、岩井扇之助、中村吉次、富士幸三郎、坂田壽一郎、湊武雄、築波雪子、月宮乙女等を配して、家傳の名槍地藏廣重を抱いて江戸は下町の長屋に住む人氣もの鏑木佐十郎が、彼に惚れる料亭の美女お歌を横取りしやとする無頼一味を相手に華やかな劍舞の饗宴を開く、撮影は上岡喜三郎の擔當、帝都キネマ三十日封切

第三種郵便物認可

朝刊
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社

革命軍戰鬪機、突如 マドリッド上空に進擊

政府空軍應戰、兩軍機入亂れ 壯烈なる空中戰展開

【マドリッド十三日發國通】マンサンアレス過般の戰鬪は政府、革命兩軍の攻守善戰により殆ど膠着狀態に陷つたが十三日朝來首都の上空においては壯烈果敢な空中戰が展開され、近代立體戰の成果を遺憾なく發揮した、午前八時突如革命軍陣地から十臺の戰鬪機が現はれ約三千米の高度を保ちながら首都上空に進擊して來たので、マドリッド市民は蒼惶として地下避難所に逃込んだが待つこと僅か五分間政府軍の陣地からは十五臺の追擊機が飛出し二千米から四百米の間を上下し、入り亂れて猛烈な射擊戰を演じた、突如一臺の軍用機が機翼、尾翼を射貫かれて墜落すると見るや間もなく二臺目の軍用機が射落されたが政府空軍が再び編隊陣形を整へた際には十五臺が無事で射落されたのは革命軍の軍用機と判明した、革命軍は戰況不利とみて退却を開始したが政府軍は包圍陣形をとり更に四機を射落し輝かしい武勳を收めた

革命軍爆擊機數台 首都群衆を爆擊

無慘、五十名の即死者

【マドリッド十四日發國通】革命軍所屬大型爆擊機數機は十四日午前マドリッド市上空に飛來、折柄防衞司令部の發表を聽くべくグローリエタアトエヘ廣場に集まつた大群衆を目がけて五箇の爆彈を投下突然の空襲とて市民は逃げかくれる隙なく即死者五十名、負傷二百名を出した、さらに爆彈は廣場の舖道を貫いて地下鐵まで大穴をあけ、他の一彈は土木省の玄關に命中して二箇の大柱を打倒す等現場一帶は慘狀を呈してゐる

日濠双方の主張に なほ相當の開き

濠洲側の回答到着

【東京國通】去る十一日キャムベラにおける村井、ガレット兩代表の會談により日本側の提案を基礎に日濠交涉は再び軌道に乘るに至つたが、提案に對する濠洲側の回答が十四日村井總領事より本省に到着した、その回答の內容によれば、なほ双方の主張には相當の間隔があつた模樣で外務當局では即日これが對策につき愼重研究するところあつたが、一兩日中に對策を練り村井總領事に對しわが方の主張貫徹方を回訓するはずである

電力統制は 飽迄民營主義で

【東京國通】電力國家管理案に對する民間電氣業者の反對運動は代案作成行き惱みで一時停頓の狀態であつたが、五大電力社長は電氣協會より國營案對策の依賴を受けてゐた關係上その後持廻り協議を重ねた結果十四日漸く左の如き申合せを行つた

一、事業の經營は民間に委ね政府は現行電氣事業法による統制を强化するをもつて最善のものと認む

一、若し統制上必要とする時は五會社は何時にても合併の用意がある(地位的プロックによる合併を含む)

なほ五大社長はこれと並行して統制上又は事業改善上有效なる方法につき研究してゐるよつて協會では來月中旬臨時總會を召集してこれを基礎に國營問題に對する全會員の總意を問ひ、決議を行ふことゝなつた

產業政策確立に 民政黨で委員會設置

【東京國通】民政黨ではかねて日滿支經濟提携の確立、南洋諸國との經濟密接化の實現を現下緊要な經濟政策なりとなし、同黨の日本民族生存權確保に關する委員會にこれが具體化を委囑し、合せて經濟鎖國主義の打破、資源の公開通商の自由、移民の自由等の實現を企圖しつゝあり、町田總裁も各地方大會において右の主旨を力說强調してゐるが過般南洋、滿洲方面を視察して最近歸京した同黨の小山松壽氏は視察の結果いよ〳〵南洋、滿洲、南支方面開發の必要性を痛感し過般の總務會席上同方面の開發と恒久的產業國策樹立のため獨立の委員會設置の必要を提唱した結果、これが取扱ひ方を永井幹事長、山路政調會長および提案者たる小山松壽の三氏に一任したので爾來三氏の間に協議を進めつゝあつたが、いよ〳〵委員卅六名よりなる綜合產業政策確立に關する委員會なる獨立の委員會を設置し小山氏を委員長とし近く總務會において委員の人選をなした上具體的活動を開始する事となつた

貿易局擴大强化案 政府內意見一致

【東京國通】馬場藏相は十四日有田外相と會見、支那問題につき重要協議を遂げたのち外務省所管機構及び貿易機構改革問題について懇談を遂げたが會見後馬場藏相の談話を綜合するに、貿易局擴大强化案に對する政府部內の意向は大體左の如き方針に一致してゐる模樣である

一、商工省案に依る貿易機構擴大强化の根本方針はこれを容認する

一、しかし外務省通商局その他の貿易關係局は現在通りのまゝ存置する

一、商工省の外局となる貿易局は貿易行政全體に對する連絡統制機關たらしめる

一、右外局には貿易行政統制上の機關として委員會制度をもつてするほか各關係省から兼任の官吏を出さしめる

艦艇制限條項失效控へ 米、軍事施設に狂奔

遠大な立案注目さる

【ワシントン十四日發國通】米國陸軍技術本部及び海軍航空局が時を同ふして軍事施設の强化を立案、各本部に勸告したことは海軍艦艇制限ならびにワシントン防備施設制限に關する條項の滿期失效に備へた軍當局の特殊な用意を示すものと解されるが、米國關係當局も尨大な立案を正當化するため相當苦慮の樣子である、殊に空軍第一線の西太平洋前進に對しては殊更帝國政府の南洋港灣施設に對抗するためだと强辯してゐる、一般にミッドウエー島、ウエーク島などの航空施設が軍事的價値あることは今夏繰返し實施された米國海軍飛行隊のホノルル、ミッドウエー間編隊飛行の經驗に徵し疑問の餘地なく軍當局の目標が奈邊にあるかを示すものとして注目される

ウエーク島にも 空軍根據地建設

陸軍技術本部長提案

【ワシントン十四日發國通】米國陸軍技術本部長エドワール・マーカム少將は陸軍省に對しミッドウエー島空軍根據地建設を提案したが、同樣ウエーク島にも百萬弗の巨費をもつて水上機用根據地を建設するやう提案した事實が判明した、ウエーク島空軍根據地の建設により米國海軍の第一線は遙か西方へ西進するわけであるが技術本部においてはこれはグワム島の軍事施設を强化しハワイ、ミッドウエー、ウエーク、グワムに四段構への空軍連環陣を結成する方針とみられる

ミ島根據地設置に 米海軍省も支持

國防軍事上の價値を認める

【ワシントン十三日發國通】ミッドウエー島に空軍根據地を設置するとの陸軍省の提案に對しては米國海軍省も全幅の支持を表明十三日次の如く述べた

一、ミッドウエー島に水上機根據地を建設するとの勸告案に對しては海軍省も既に同意した

一、同案は主として商業用であるが、同根據地は國防上の見地からも價値あることは言をまたない

一、勿論原案通りでは多數の水上機を集結するには狹すぎるが海軍としても軍事上の價値ある一切の工作に對しては充分關心をはらふことは勿論である

高瀨氏遺骨 神戶に向ふ

【上海十四日發國通】上陸第一步の直後抗日テロの一彈に貴き犧牲の血を流した笠置丸船員高瀨氏の告別式は十四日午後一時より西本願寺上海別院においてしめやかに擧行された、告別につめよせた居留民の燒香ひきもきらず、貴き血を流した故人を弔ふ思ひとあくなき抗日テロに對する憤激の念は式場の隅々まで滿ちてゐた、告別式終了後遺骨は船友に護られて笠置丸にうつされ同三時半ドラの音も悲しく神戶に向け出帆した

佛國防相軍備充實案 無條件で可決

【パリ十三日發國通】フランス下院陸軍委員會は十三日午後ダラディエ國防相の軍備充實案を討議し票決に附した結果贊成廿八票、棄權五票をもつて無條件で同案を可決した、票決に先立ち共產黨並に社會黨委員は兵役年限を短縮するため現役と豫備の合體を提議したがダラディエ國防相はかゝる動議を提唱するなら辭職するといきまいたので結局右動議を撤回、充實案の票決に際しては棄權した

滿發新築社屋 竣工近し

中央大街に工事を急いでゐた滿洲鑛業開發會社の新築家屋は殆ど竣工し、內部裝備を終つて來月十日頃曙町の現在事務所より新社屋に移轉することゝなつた、同新築社屋は工費二十數萬圓で六月一日より大倉組の着工したもので鐵骨三階、地下一階、總延坪三千七百七十四平方米の本館と四百十坪二階建別館よりなつてゐる

ブ首相の內相 左右兩議員大亂鬪

【パリ十三日發國通】パリの右翼週刊グランゴア誌は三週間前からサラングロ內相の非國民的行爲につき旺んに論難を加へて居るので右非難に對しブルム首相は十三日午後フランス下院で釋明したことから左右兩派議員の間に大亂鬪が演ぜられた、即ちグランゴア誌の報道によれば內相は自轉車隊の一兵卒として大戰に出征、一九一五年十月戰友の死體を持去らうとしてドイツ軍の捕虜となり、フランスの軍法會議において戰線脫走の廉で死刑の缺席判決を受けたのち歸國して再び軍法會議にかけられ、僅かに釋放されたと言はれるが、十三日右翼議員は右記事を持出して內相の人身攻擊を始めたのでブルム首相が登壇してサラングロ內相の勇氣を稱揚してグランゴア誌の攻擊を反駁ついで當のサラングロ內相も

余は死んだら骨を賴むぞと誓ひ合つた戰友が戰死したのでその約束を果すため一時友軍を離れ不幸にして捕虜になつた

と低い聲で辯明したが、ブルム首相の演說が始まるや右翼議員は「この乞食ユダヤ人」と罵聲を浴せかけサラングロ內相の辯明に對しても足を踏みならして妨害したので、左翼議員は激昂して右翼議員の席に向つて殺到、兩派の間に大亂鬪が展開され、結局多數の守衞が出動して騷ぎは漸く鎭つた、因にサラングロ內相の行動については既に數週間前出征軍人協會において眞相を調查した結果、內相は一九一六年一月軍法會議にかけられたが死刑の判決を受けたる事實なき旨確認してゐる

"不斷の努力により 防空に努めよ"

―植田特別市防護團長談―

特別市防護團長植田貢太郎氏は防空演習を終つて左の如き團長談を發表した

今回舉行された防火演習は予定の如く晝間の消火、防毒の演習並に交通整理、及び夜間の燈火管制を好成績を以て終了し多大の收穫を得たことは偏へに團員並に市民各位の眞劍なる活動に基くものであり、喜ばしい次第と思ひます、云ふまでもなく防空演習の目的は一朝有事の際に於ける非常訓練でありますが、今後國都の防空は防護團に依つて完全に維持される樣ますます訓練し、防護團員は飛行協會防空協會と協力し不斷の努力に依り國都の防空に努めなければならないと思ひます、此の見地から現在行はれてゐる學生の軍事教練も單に步兵教育に止まらず科學兵器の取扱など科學的訓練を必要とするものと考へます、將來は全滿に防區地區を設定し軍當局と防護團の任務を區別し機材兵器等を防護團で操縱し防護團員のみにて國都を守る樣にしなければならないと思ひます、更に亦國民國防の五ヶ年計畫に基き會員制の組織にして滿洲國官吏及特殊會社々員を會員として基金を作るのが理想的ではないかと想ひます、防空演習の感想を述べ今後の皆樣の努力を希望する次第で御座います

人事往來

▲守屋和郎氏(大使館)十五日歸京
▲張景惠氏(總理大臣)同
▲大村卓一氏(鐵道總局長)同ハルビンから通過奉天へ
▲連上校(侍從武官)同ハルビンへ

航空往來

▲橋本尙氏(京城)十五日大阪へ
▲植田少佐 同錦州へ
▲深堀中佐 同承德へ
▲藤村中佐 同
▲高井泉氏(軍人)同ハルビンへ
▲小林中佐 同佳木斯へ
▲栗田一等獸醫 同
▲高不次郎氏(會社員)同大連へ
▲天野堅次郎氏(遞信局)同奉天へ
▲塚田中佐 同
▲長谷川利司氏(會社員)同奉天から
▲佐野長吉氏(同)同

□話

昭和三年一月三日呱々の聲をあげた長春健兒團は中途昭和七年新京少年團と改稱され現在まで既往八年の歳月を閲してゐる▼其間終始一貫「誓」「掟」の實踐指導に努力精進し長春體育協會長、全國少年團總會から其の篤行に對し感謝狀並に表彰狀をうけ▼昭和五年五月十七日畏くも秩父宮殿下御親閱の光榮に浴し昭和六年滿洲事變勃發に際しては義勇隊を組織し獻身的奉仕に從事した功により御下賜品を拜戴の光榮に浴する等▼同少年團の歷史は榮光に輝いてゐる▼云ふまでもなく少年團の教育は敬神と皇室崇敬に在り更に進んでは「親善は子供から」のモットーの下に日滿少國民の提携に貢獻しつゝあり淚ぐましきエピソードは數限りなく綴られてゐる▼かゝる平和の使徒たる重要なる役割をつとめつゝある、少年團の經費はと言へば僅かに關東局滿鐵より年額百圓宛の補助と篤志家の獻身的努力によつて維持されてゐるのである▼こゝに於て在京識者間に此の光輝ある歷史を有する少年團のより擴大强化を圖るためにせめて經費の憂ひをなからしめやうと云ふ新京少年團後援會を設けることとなつた▼役員其他は近く決定を見る筈であるが在京市民はその趣旨に贊して奮つて後援されんことを切望する

陸軍々備の充實と その精神
陸軍省パンフレット （六）

△大戰直後の軍備充實

歐洲大戰はいよいよ酣にして

戰局の變轉全く豫知し得ない情況となるや、わが當局は從來の如く單一の敵國を對象とする國軍整備の方針では國防の實を全うし得ないと考へるに至つた

そこで大正七年平時二十二軍團（四十四師團）および要塞整備の案を樹て寺内、原兩内閣はこれに要する經費の支出を認め、原内閣當時に大正九年度より逐次本案經費支出實行すべく閣議決定を見たのである、これが實現されてゐたならば今日の如き國防の缺陷は招來しなかつたであらう

しかるに世界大戰の終了後帝政露國の崩壞したると陸軍裝備の趨向とに鑑み、わが國軍裝備の方針にも根本的の變化を齎すに至つたので、前述の兵數の擴張は一時これを放棄し、世界大戰の結果飛躍的進步を來した裝備の改善を急務と考へ大正九年新に四億八千六百萬圓の豫算成立し前よりの繰越豫算と合し、大正十年これを國防充備費として總額五億六千萬圓をもつて大正廿四年度までの繼續豫算として兵器の改善、裝備の充實を行ふこととなつた

これがその後財政上其他のの理由により繰延べにつぐに繰延べをもつてし、節約につぐに節約をもつてするの餘儀なき狀況に立ち至つたのである

△「大戰前型」軍備と「大戰後型」および現代型即ち「超大戰後型」軍備

世界大戰を契機として軍備は劃期的大變化を齎らしたことは周知のことである、即ち火器の進步、飛行機器發達軍の機械化と科學兵の使用とがその主なるものであり世界大戰に參加した列强は五年の久しきにわたり國力を賭し、人力と金力との限りを盡して戰爭に從事し、悉くこの近代的の裝備を具備するに至つた、これ等の新軍備は大戰終了後と雖も悉くその儘保有せられて今日に至つてゐるのである、參考のため列强の大戰間使用した軍費を概示すれば、

英國	七一九億圓
獨國	六六六億圓
佛國	五七一億圓
米國	四六一億圓
伊國	一六二億圓

であつて、右の如き經費を投じて各々數百萬の大軍を建設し、これに悉く精鋭なる近代的の兵器を具備せしめ、しかして五ケ年の大戰を實施したのである、これに反しわが國は世界大戰に參加はしたといふもの、眞に國軍の一部に過ぎず、使用した經費も歐洲諸國に比すれば全く九牛の一毛に過ぎない、從つて大戰後において日本を除く世界列强は悉く所謂「大戰後型」の軍備と國家總動員の施設とを保有し、さらに最近においては最新式の所謂「超大戰後型」の軍備を備へつゝあるに反し、獨りわが國のみは「大戰型」の舊式軍備をしかも極めて不十分に整備しあるた過ぎずこの儘にて放置せんか、國防上重大なる缺陷を暴露する虞あるに至つた

こゝにおいて取敢へず大正九年の資材整備費の成立となり大正十年これを國防充備費の一部とした次第である、これが完成しても單に資材の彌縫的整備に過ぎずして到底歐米列强の程度の編制裝備に追及することは思ひも寄らぬところであるが辛うじて應急の需に應ずる準備は不完全ながら整ふわけであつた

△軍備縮小時代の出現

々々戰後の世界的不況の襲來とゝもにわが國家の財政狀態は軍容刷新のための新なる經費の支出を困難ならしめ、一方戰爭の慘禍を呪ふ平和論の擡頭、大戰中の好景氣時代に培養せられた國民の頽廢的氣分と、大戰後釀成せられた極端なる自由主義思想と相合流し、軍備縮小の聲漸く高まり、さきに華府海軍々縮會議成立の空氣に拍車を掛けられて國を擧げて軍備縮小、軍費節減の要望となり、その極遂に第四十五議會において在營年限を短縮し、軍事費四千萬圓を節約するの建議案が議會において採擇せらるゝに至つた

情勢かくの如くであつたが、前述の應急的兵備改善は國防上絕對的の要求であるのでこれが實現を條件として、出來るだけ軍事費節約を圖り與論に副ふこととなり、所謂山梨案として傳へられる大正十一年度の軍備整理が行はれたのである

一、大正十一年の軍備整理

本整理實行の結果人員總數將校以下五萬四千、馬匹一萬三千、實に約五師團分の實勢力を整理縮小することゝなつた、わが軍政史上未曾有の軍備整理はかくして行はれ、ついで行はれた大正十四年軍備整理其の他數次の軍備、行政整理の結果と相俟つて、今回滿洲事變の勃發に當つては、國防上多大の不便に直面するに至り急遽應急の軍備充實をなし僅かに危機を切り拔けたやうな次第である

本整理にとつて歩兵二百五十二中隊、騎兵二十九中隊砲兵百一中隊、工兵七中隊輜重兵九中隊はつひに光榮あるわが陸軍から影を沒したのである

さらに朝鮮歩兵聯隊增加人員國境守備隊、歩兵聯隊增加人員、官衙學校等にわたり極度の整理を行ひ、要塞整理費、國防充實費等の重要繼續費の節約繰延べを行ふ等、これ等によつて節約し得た經費は、大正十二年度以降十一年間に三億五千萬圓の巨額に達したのである右の如き軍備縮小を行ふとともに、一方歩兵隊に輕機關銃歩兵砲を裝備し少數の自動車牽引重砲隊を新設し各兵種に通信、觀測器材等の僅少なる近代的裝備をなし、僅かに整理に伴ふ缺陷の補正を努むることゝなつたがかくの如き姑息なる方法では、到底充分その缺陷を充足し、軍の近代化をなし得べくもないことはいふまでもない

これがため大正十二年度以降十三年間にわたり、繼續費として臨時費九千五百萬圓を要求し、結局において大正十二年度豫算は前年度に比し三千萬圓の節約となつたのである

以上の如く大正十一年には軍縮とゝもに、一方において軍備の刷新を企圖したが、これらの充實のためには、何分にも十三年の長年月を必要とし、これでは大戰後の駸々たる軍事の進步に對し、到底世界列强の水準に追及し得べくもなかつた

近代軍備に必須の航空隊の如きも、當時僅かに十數中隊に過ぎない貧弱な有樣であり戰車隊、高射砲隊に於ても全く獨立部隊すらこれを持たず化學戰裝備にいたつてはその研究施設すらない有樣であり況や將來戰の趨向とも謂ふべき國力戰—國家總動員に應ずるための靑年訓練の制度の如きは全く考慮外に置かれてあつた始末である

以上のものは、軍としてその必要を認めなかつたわけではなく、財源を取得し得ないため已むなく緊急已むを得ないものに止め、他は後日に讓つて只管時機のいたるのを待つて居つたのである

支那側態度强硬で 日支交涉 重大岐路に立つ
川越、張第八次會見十七、八日頃

【上海十四日發國通】須磨總領事は十三日夜高亞洲司長を訪問して第三次豫備折衝を行つたが、何等の結論に到達せず今週中に行はれるものとみられた川越、張群會見も遂に來週に持越されるに至つた目下の觀測では十五日頃さらに須磨、高宗武間に豫備的交涉を行ひ、大體の目鼻をつけた後十七、八日頃川越、張第八次會見が行はれるものと豫想されるが支那側の態度は頗る强硬で交涉の核心的部分たる北支、防共兩問題に關して具體的成果を得ることは絕望的とみられるに至つた、從つてこの際可能なる部分のみをまとめて他は後日に委ねて一旦交涉を打切るか或ひは所信貫徹の態度を堅持し、あくまで全面的解決を主張し容れられざれば決裂も辭せずとの態度に出るか今や日支交涉は異常に重大岐路に立たされてゐる、しかしいづれにしても來るべき川越、張群第八次會見において大體の結着をつけることは疑ひのないところでこゝ數日の推移は最も注目に値する

滿洲國損保會社問題
株式割當で縺る

【東京國通】滿洲國の損害保險會社設立に關し日本火保協會の委員會社たる內地側八社（東京海上、大阪海上、神戶海上、東京、日本、共同、橫濱、千代田の各火災）ではこれが出資保證決定のため先般來連日にわたり委員會を開き種々協議したが、株式割當問題をめぐつて東京海上と東京海上系以外の會社との間に意見對立し、東京海上は非公式に脫退を通告するに至り事態は混亂を呈するに至つた、すなはち東京海上系各社は會社の總資金に應ずる割當を要求するに對し、右系以外の各社は新設會社の株式割當は各社均等なるべきを主張したが妥協ならず、東京海上の單獨脫退となつたものであるが、株式を總資金に應じて割當てることになれば東京海上に獨占される虞あるので東京海上系以外の各社は反對してゐるものゝ實際問題としては東京海上を除外することは不可能なので十三日午前東京火災南社長は商工省に善處方を依賴した、しかして當局としては目下來京中の美濃部企畫處參事官とはかり兩派の代表者の出席を求めた上圓卓會議を開催の運びとなるものと豫想される

滿鐵明年度營業益金
四千七百萬圓
八分配當確實に維持

【大連國通】滿鐵十二年度營業收支豫算は鐵道總局の國線豫算が未提出のため正式編成を見るに至らないが大體の見透しは總收入二億九千四百萬圓、總支出の二億四千七百萬圓にして總益金四千七百萬圓となり十二年度八分配當は確實に維持し得る見込みだが、收入豫算中の最大なるものは依然鐵道收入の一億四千三百萬圓で次で鑛業收入の八千五百萬圓等である

伊、墺、洪の共同戰線に
小協商國側反對

【ローマ十三日發國通】ウイーン會議で伊、墺、洪三國代表がトリアノン條約軍事條項の廢棄を宣言した結果、小協商各國政府は强硬な決意を仄かしてゐるが、萬一小協商國側がハンガリー政府の再軍備工作に反對して何等かの報復手段に出づる場合には伊、墺、洪三國政府は共同戰線を發展强化せしめる方針とみられるイタリー政府機關紙は十三日の紙上において

「ローマとウイーンとブダペストとは相互の責任を自覺し將來何事が起る場合三國間の共同動作は完璧であらう」

と述べてゐるが、ローマ外交界の觀測では

三國政府伊、洪、墺はウイーン會議で萬一に對處するため軍事的協定についても考慮したのではないか

といはれる

一九三六年度 ノーベル賞

【ストックホルム十二日發國通】ノーベル賞委員會は一九三六年度ノーベル賞受賞者を決定十二日左の如く發表した

△文學賞 ユージン・オニール

△物理學賞 カリフオルニア工科大學教授カール・アンダーソンならびにインスブルック大學教授ヴイクター・ヘス（アンダーソン博士は陽電子の存在の發見者、ヘス博士は宇宙線の權威者）

△化學賞 ベルリン大學教授ペーテル・デヴイエ（デヴイエ博士は分子構造の權威）

△醫學賞 ロンドン國立醫學研究所長サー・ヘンリー・グレット・デールならびにオーストリアグラーツのオット・レービイ

世界赤化の（下）
眞正面に立つ支那

ソ聯およびコミンテルンの働きかけに對する國民政府の態度はどうかといふに從來の苦い經驗から考へるも國民政府が聯ソ容共政策を採用することは、國民黨の尖鋭分子を共產黨に橫取される虞があるばかりかその結果は國民黨內に左右兩派の分裂を招來し、結局は武力による共產黨分子淸掃工作を再演するに至ることは火を睹るよりも明かなことであるばかりか、今日の情勢において容共政策を採ることは彼等の過激論にリードされて日支關係を戰爭に直進せしめる危險性が多分にある等の理由から極左派の陳立夫や親ソ派の孫科、馮玉祥等の面々を別としては依然敬遠主義をもつて臨むといふ空氣が濃厚に支配してゐる、たゞ最近日支交涉によつて日本側から要求せる北支、防共の二問題に對し國民政府側の理解に十分を缺くところから徒らに恐日論に傾き對日軍備に汲々としこれがため共產黨との局部的提携をもつて萬全の策なりと思惟せしめるやうな誤謬に自ら陷りつゝあるかの觀がある

すなはち蔣介石氏は杭州、西安、洛陽において國防會議を開き北支および西北の將領を召集して周到なる抗日策を授け、最惡の場合に處する準備を着々進めてゐる

今これが具體的實例について說明することは省略するが、その遠大なる抗日作戰準備は防備の域を越へ、むしろ攻擊的な戰備とさへ見へる積極振りを發揮してゐる

また過般蔣介石氏が支那記者に對し「共產黨が國際的操縱に乘つて武力をもつて國家を破壞するやうな擧措に出るに對しては斷じて容許出來ないが國家の統一を妨げず國法公規を維持する範圍內であれば寬大政策をもつてこれに處して行く方針である」と如何にも容共政策に還元せるかの如き口吻を洩したことやまた西安においてソ聯代表と會見し本年三月締結せるソ支軍事密約を利用して對日統一戰線の强化を策した模樣があるとの說など單に日本側牽制のゼスチュアーとばかりは受けとれない極めて重大な言動を弄してゐる事は注目すべきである

□

情勢を大觀するに支那は今「東よりの背面攻擊」に向つて遮二無二邁進せんとするソ聯およびコミンテルンの世界赤化の攻擊面に立ちしかも日支關係を巧みに利用されつゝ國內到るところにおいて赤色分子の思ふ存分な活動を容認しつゝあるかの狀態にある、しかも親ソ派およびソ聯大使の暗中飛躍は着々伸展し抗日戰線の名のもとに先づ學生層をその手中に收め事實上國民黨の聯ソ容共時代の還元を招來せんとしつゝある、しかし若し支那が一九二五—二七年の頃の反帝國主義戰線によつて支配された如き時代が再現した曉には嘗つて土地革命によつて失敗したコミンテルンは機をみて都市革命を目標とする戰端を國民政府および支那の資本階級との間に開始するに至るべく、かくて支那も赤スペインが弄ばされたと同樣なボルシエヴイキの犧牲下に組み敷かれ、凄慘なる內亂戰を展開するに至るであらうすなはち日本を牽制せんがための一時的方略から聯ソ容共政策を採ることは近き將來において支那をして第二のスペインたらしむるものであり、支那をして再び救ふべからざる混亂と破滅の危機に陷らしむるものである

電報局新設

電々會社では奉天省奉吉線梅河口驛構內梅河口電報取扱所の電報遞達事務を來る十一月三十日限り廢止し廢止されたる右事務は同省海龍縣梅河口城內中央大街に新設された梅河口電報局に承繼せしめ十二月一日より事務を開始することになつた

スンガリーの 流氷始まる

今年は例年に比して非常に暖く降り積つた雪も打續くボカ〳〵した晴天に溶け出し街上は時ならぬ泥海と化してゐる程で此の分なら當分松花江の流氷も遲れるだらうと測候台では語つたが、一昨夜來急速に氣溫底下し突如十三日に至つて張りかゝつてゐた七八分の氷が松花江の本流に辷る樣に流れ出して愈々本格の流氷が始まつた、太陽を浴びて銀一色に輝きながら岸邊に打つかつたはずみに三片四片と碎けて、江岸を嚙み素晴らしい壯觀を呈してゐる、江岸には早朝から黑山のやうな日、滿、露の見物人が寒さにもめげず蝟集して混雜を呈してゐる、特に日本人の多いのは此の壯觀を日本內地への父母兄弟への通信に資する爲であらう尙本年度の流氷は昨年より二日遲れてゐる

哈驛各ホーム間の 地下道竣工

露西亞が取殘していつた一つ哈爾賓驛從來列車到着每に旅客はレールを踏み切つてホームとホームを連絡してゐたが近來益々頻繁になつて列車發着每に非常な危險に曝される狀態にあつたので哈爾賓驛では旅客誘導の萬全を期する爲第一、第二、第三、の各ホームに通ずる地下道工事を進めてゐたがこの程美事に竣工したので十四日より旅客の通行を開始した

これによつて幾多の危險も解消した譯で哈爾賓驛の機能は從前より遙に向上されて來た

撞球大洋倶樂部

市內東二條通八島小學校前に撞球場大洋倶樂部といふのが十五日から開店したが明るくて感じのいゝホールにサービス本位をモツトーとするだけに好評を受けてゐるが十五日夕刻より開店記念として仲屋玉台店主催の下に武田選手、吉林選手の妙技を公開してゐる

馬車內の忘れ物

▲十一月二日革鞄一ケ（カルパス二本書類在中）大經路警察署保管▲五日（鐵線引張器一ケ）同▲新聞紙包一ケ（果物及齒磨粉在中）同▲六日西三道街より平康里まで（釘一包）同▲七馬路より新京驛まで（滿人毛製馬掛一枚）同▲七日（寒暖計一ケ）同▲吉野町より大經路まで（帳簿二冊）同▲八日手提筐一ケ（滿人用雜品）同▲（手扣一ケ）同▲（釘一包）同▲九日（マッチ二函）同▲（ラヂオアンテナ用線一卷）同▲十日ハトロン紙袋一ケ（書類在中）同▲十一日革サック（メートル卷尺一ケ）同▲（蒙古人用香爐瓶一ケ、同

鮮魚小賣相場

最に付低（十五日）

品名	最高	最低百匁
活鯛	七五	四三
氷鯛	四二	三六
小鯛	五五	三〇
連子鯛	三〇	…
チヌ鯛	二八	二四
アマ鯛	二二	一九
イセエビ	九〇	五五
車エビ	八八	七二
ブリ	二八	二一
ヒラス	三一	二六
マナ	二五	…
鮭	…	…
サハラ	二五	二四
スズキ	二〇	一〇
赤ムツ	…	…
ニベ	三一	…
サパ	二五	…
アヂ	二四	二〇
メパル	一〇	…
ヒラメ	二二	一七
コチ	…	…
コノシロ	一七	一六
ホーボー	一〇	九
キス	四三	一八
タコ	三〇	二九
水蛸	一八	…
飯蛸	…	…
カニ	…	…
甲イカ	…	…
サヨリ	五五	四七
アナゴ	二二	一二
アワビ	六〇	四二
シジミ	一三	一二
ハマグリ	…	…
ブリ	五〇	三五
サワラ	五〇	…
小エビ	…	…
カレイ	…	…
タラ	…	…
イワシ	…	…

松花江を堰止めて "琵琶湖"が出來る
水運による產業開發期して 尨大な治水計畫樹立

今後の滿洲國產業開發は國防工業の充實並びに一般產業の全面的發展を期するにあるが、この方針が漸次具體化されるにつれ[illegible]各種の計畫が着々實現する、その中最も大規模な計畫であり[illegible]治水計畫であるが、[illegible]吉林[illegible]約四十里の人工湖が[illegible]出現し、明媚な風景と相まつて吉林八景と謳はれるのも遠いことではないとされてゐる、さらに[illegible]吉林とハルビンを結ぶ第二松花江[illegible]つけられ、水運に一大

飛躍

する可能性が與へられてゐる。これは滿洲國政府實業部臨時產業調査局に於て治水五ヶ年計畫を[illegible]はまづ第二松花江の水流を整へる工事に着手されるのであるが、大要は吉林の上流約六里のところにある溪谷を利用し、二百尺の大ダムを構築し水流を堰き止めるところに直徑四十里の大湖が自然に出來るのである、その水を適當に南下し吉林から嫩江に合し、ハルビンに通ずれば兩河の水量は現在より吃水約二尺增加し、この沿岸を提防に築き水流を常に一定せしめるといふのであるが、この工事が完成されゝば湖の利用はもとより

落差

による大發電、吉林、ハルビンの新都市としての發展、沿岸農村の灌漑により七萬二千町歩の水田開拓、これによる約一萬の日本移民の收容等その利益は凡そ想像もつかぬ位である、即ちさきに公表された滿洲國水力電氣國營案もいはゞこの治水計畫に附隨して必然的に可能になつた様なものである即ちこの吉林水力發電所大ダム工事は工費約四千萬圓來年度から着手し四ヶ年計畫で十八萬キロの大電力設備を有するものとなる、さらに單に松花江のみならず、このほか嫩江、チヽハル上流墨爾根附近にも大ダムを構築、支流を合して大湖水を現出させ附近一帶に約九十萬町歩の水田を開發水力發電所を設立する計畫もあり、南滿では營口から鞍山を經てさらに安東に結ぶ水道をつくり、水運による重工業製品の輸送路を開拓、これによつて海域附近一帶の濕地と河川の氾濫を解決するなど全滿各方面にわたる

尨大

なる治水計畫による產業開發は大いに期待されてゐる

照りかげる日の満すうすと夕づきてスケートリンクの寥しさに立つ(寒太郎)

新京少年團で 團員募集開始
非常時に備へ組織の强化圖る

滿洲事變當時義勇隊を組織し花々しき活躍をないた光輝ある歴史を有する新京少年團は從來竹下主事薫陶の下に國都のあらゆる行事に率先して參加しその可憐なる姿眞摯なる活動は市民を痛く感動せしめてゐるが國家非常の秋に當り、更に團の內容を充實强化し以つて少年團本來の使命達成に邁進することゝなり今回全市に亙つて新團員の募集をなすことゝなり既に各小學校に於て受付を開始してゐるが右につき竹下主事は語る

少年團の目的を申上ると學校敎育や家庭敎育と相俟つて組織的な團體の力によつて少年に通有する興味を利用して"身體の健全""智識の向上""品性の涵養""趣味の陶冶"等の完成を計り修養と娛樂を兼ねて自己を磨き他を磨き內に在りては能く家事を助け、出ては能く人を助くるの實力を練り他人を尊重すると共に自立の精神を養はせ又一方國家觀念を高からしめてそこに人類愛の大精神を培ひ宣誓及"おきて"の趣旨を實踐し「如何にも少年らしい快活な少年」「善良な國民」「善良な人類の一員」となる堅い基礎を造らしめるのが目的であります、各家庭に於かれても良くこの趣旨に贊同されて一人でも多く入團するやう希望致します

軍犬協會で 軍犬百頭買上

滿洲軍用犬協會では關東軍よりの依賴を受けて軍用犬を買上げることになり各支部に手配中であるが今度の買上頭數は百頭以上の由にてなるべく現地滿洲で求め不足の分だけ內鮮方面から補ふ方針で左の要領に依り奮つて應募せられん事を希望して居る

一、購買豫定頭數 十頭位(但新京本部分)
二、年齡 滿一年乃至二年半以內

▽……應募者への注意

三、購買價格 種犬五百圓以內、作業犬百圓前後
四、性別 牝、牡何れにても可
五、血統證を有するものは檢査當日提出のこと
六、購買期日 十二月上旬
七、購買實施に就ては關東軍々犬育成所より職員出張の上決定す
八、候補犬名簿は犬種、犬名、毛色、生年月日、性別、產地、血統、訓練程度、豫定價格の順に記入すること

"ひとのみち"信者に訓く
重態の妻に"みをしへ" とりに來いと强要され哀れ悶死
恐るべきこの非道

敎義には畏くも敎育勅語を奉體し敬神尊皇の美名にかくれ救世濟度と內地のみならず鮮滿まで手をのばし幾十萬の良民を瞞し世の爲め人の爲め淨財獻金と稱して巧に金錢を搾取し曖昧極まる會計を作つて信者を僞瞞し、みしらせ、みおしへ等の言葉を造り出し精神的に惱む者や病氣に苦しむ者を常識では判斷もつかぬ事を云つて迷はし獻金を要求してゐた惡辣なカラクリの內容は取調當局の發表に依つて全貌が明かにされた今迄欺瞞され愚弄されてゐた人々が夢から醒めた告白を掲げてみるのもまた此の世に生きる生身に得るところあると思ふ

新京老松町三番地江戶一郎氏の妻民子(二六)さんは胸の病氣で惱んでゐたが知人に勸められて昨年一月ひとのみちを信じるやうになつたが胸の病氣は思はしくないのでみおしへをたのむことにした、敎師から『おがめばなほる』と云はれた事を信じて醫者にもかゝらず信心し其のしるしにと精々獻金してゐたが妻は日增しに重態に陷り遂に足腰も立たぬやうになつたところへ今年の六月本部からみおしへが來たとの通知に一郎氏は早速渡邊支部長を訪ね妻は病でたてぬから代理にみおしへを授けてもらひ度いと願つたところみおしへは必ず本人でなければ渡せないと云はれ空しく歸宅して妻に話したところ有難いみおしへが來たのだから行くと云つて玄關まで出たが病弱の爲め歩けなくてのめつて了つた、この由を支部長に話し再三代理の夫に下げ渡し下さいと懇願したが本人が來なければ駄目との渡邊支部長の言葉に憤慨して夫婦じやないか渡して吳れと詰寄つた所夫婦でも親子でも秘密は秘密だ殊に民子さんのみおしへは外の人には見せられない內密のことが書いてあるから本人でない限り責任に於ても渡せぬと劍もほろゝの挨拶なので遂に妻を背負つて出掛たが支部まで行きつかない途中で民子さんはみおしへがほしい〳〵と悶えながら冷くなつてしまつた、葬式をすまし支部長にみおしへの事を尋ねたがそれには答へず只『まことが足らんから死んだのだ』と云はれたとのことで醫者にもかけずあんな事を信じてゐてこの不幸を見てうらめしくてしかたありませんと岡田高等主任に泣きながら告白した

軍犬泥棒橫行

滿洲軍用犬協會新京支部では今春以來國都一戶一犬を目標に一大飛躍をつゞけ今では其の數に於て全滿一を誇るに至つたが最近軍用犬の盜難が頻々として相つぎ愛犬家に一大恐慌を來してゐるがその手口から見て盜んだ軍犬は他に賣却するのが目的でなく毛皮用として竊取するものと見られてゐる

商業生徒の 兎狩り

新京商業學校では年中行事の一つとして毎冬やつて來た兎狩りを十七日伊通河畔で催す全生徒六百五十名は當日腰辨で朝八時校門を出發し、徒歩で伊通河まで行き、同日午後三時ごろ歸校、なほ當夜は寄宿舍で獲物の料理で舌鼓みを打つはずである

新京新人演藝大會 今夕六時開演
二日間に亘つて公會堂で

在京アマチユアをすぐる多彩豪華なお膳立てをもつて民衆藝術の旗幟を振りかざすオール新京新人演藝大會の第一回公演は新京放送局、滿鐵社會係の後援により愈よ今十六日夜六時より蓋明けをなすが、既報の如く本社の「演藝放送」新人を中心にそれ〴〵得意の秘藝を盛つたプログラムは早くも好評嘖々たるものあり心を碎いた趣向の豐富さと相俟つて、寂寥の國都伎藝界に敢然と駒を並べた熱意にその先驅的役割を期待する所大なるものがあらう。

頭道溝埋立地に 大繁華街出現
商店舖は八島通り側に並ぶ 祝町以東の發展に期待

市內八島通三角地帶、頭道溝一帶の埋立工事は本月一杯に完了するやう目下晝夜兼行工事を進めてゐるが同地帶の建築は明年の解氷期を待つて着工するものと見られるが滿鐵の市街建設方針は既に決定してゐる、即ち中央通側は會社事務所等の大ビルデング街、八島通側は大商店、貸室アパート其他大規模なる飲食店娛樂場頭道溝一帶は小賣商店小規模の飲食店娛樂機關の密集せる盛場つまり京都新京極式のものを設けること、而して建物は頭道溝側は大體二階迄に制限し家並を揃へ連鎖商店式のものとなす方針であるが完成の曉は今まで連絡を斷たれてゐる形にあるダイヤ街方面の繁華を促すと共に祝町以東が一大飛躍をなすものと多大の期待をかけられてゐる

放送局營業所の 擴張移轉

電々會社が大衆向きラヂオ受信機の販賣に乘り出して僅かに一ヶ月其の間の反響は頗る大きく全滿各地とも社員總動員の活動をなしつゝある、殊に國都新京では需要非常に多く從來の放送局內に於て販賣する事は種々不便を感じるので去る十一日より新發路帝都キネマ北側へ進出し本格的に營業開始する事となつた、因に同店では受信機販賣、集金の外ラヂオ相談事務をも取扱つてゐる

全滿民會聯合會 公會堂開催

全滿居留民會聯合會は十六日午前九時から新京記念公會堂で開催されるが十六日は各地民會提出の議案を整理し本會議は十七日同所に於て開催される

「商租權整理の話」發刊

國務院地籍整理局では今回分會で商租權整理法並申告手續の要領等誰にも一讀して諒解せしむるやう簡易に記載說明し尚附錄として關係諸法規を附加蒐錄したるものを四六版一二七頁の商租權者必携小冊子商租權整理の話と題し發行協和會其の他各機關を通じて全滿各方面にて發賣中である、當新京に於ても在市商租權者の爲に右の小冊子を一部一〇錢の廉價にて地籍整理局分會並協和會首都本部の二箇所に於て頒布するとの由

官吏さんの病氣は 傳票が治します
市立病院で傳票制度を採用

廣く市民の醫療機關として近代醫科學の粹を蒐めて去る四日新京特別市に新築開院した特別市立病院では一般市民の健康增進の大眼目から鋭意來院患者に對するサービスの研究其他醫療設備の充實に努めてゐるが、同病院では今度滿洲國に籍を置く滿系官吏は勿論日系官吏に對しても傳票制度を採用することとなり去る十日滿洲國各部に其旨通達した、平素貯蓄のないサラリーマンも病氣の際はこれで簡單に入院も出來、治療を受けることが出來るわけで同病院よりの各部會計科との連絡によつてその費用は月給袋より差引かれることになつてゐる

名所寫眞展 三中井で開催

滿都カメラマンの爆發的人氣の裡にさきに懸賞募集した新京觀光協會主催、新京名所寫眞展覽會は十五日からの豫定を變更し、いよ〳〵十六日から三日間三中井百貨店樓上で開催される、出品は例の一等當選(賞金五十圓)阿部幸雄氏作『國都の全貌』を始め二三等、佳作など入選十六點のほかに選外の優秀作をも加へて約五十點、いづれも應募三百餘點中から選りに選つた力作揃ひである、觀光寫眞として新京で最初のこの企てが豫期以上の成果を收め得たについては主催者側でも頗る滿足の意を表してゐるが、なほこれ等の作品は大阪商船の『海』アサヒグラフ、雜誌斯民などによつて、日滿全國的に紹介され、また新京名所寫眞帳、繪葉書その他にも發行されることになつてゐる、カメラ愛好家はもちろん一般人に取つても是非見逃し難いものであらう、出品の主なるものは次の通りである

主なる出品

國都の全貌 阿部幸雄
新國務院 田中再董
寬城子無電台 小秋元隆邦
淸眞寺 小塚光彥
忠靈塔 二宮司朗
孝子は勝てり 圓城子進
財政部附近 小秋元隆邦
西公園 木戶憲三
中央通 酒井良一
大同公園 須賀勇雄
淸眞寺 宇宙公子
新京驛より 平石榮
西公園 池田光生
順天公園より新國務院を望む 須賀勇雄
關東軍司令部 小秋元隆邦
牡丹公園 同人
その他約三十點

管沼タイプライター 座談會開催

管沼タイプライター滿洲直賣所附屬日滿タイピスト學院では十五日午前十時より第九回卒業式を開催し引續き午後は會員の座談會に移り盛會裡に散會した、因に今回の卒業生は一〇〇名である

大津總務司長 熱河省管下視察

【承德國通】大津民政部總務司長は熱河省管下視察のため十四日午後七時五分着列車で來承したが、十五日早朝承德神社參拜後財政部各機關を歷訪、十六日午前七時承德發自動車で隆化、圍場、赤峰、建平を巡視し錦州に向ふはず

熱河教育廳長來京

【承德國通】熱河省敎育廳長申振先氏は訪日視察團に參加するため十五日午前九時卅分發列車で新京に向つた

連侍從武官赴哈

日滿軍御慰問のため畏きあたりより御差遣あらせられた連侍從武官は十五日午後十一時發列車で哈爾濱に向つた

新京競賣所廉賣

祝町三丁目(鮮銀橫)新京競賣所では顧客に對する報恩の意味で二十三日まで和洋服並に洋品雜貨等の誓文拂大賣出しを行つてゐるが特價品やおつとめ品などの大廉賣に人氣をあつめてゐる

滿洲空前の大公判に立會檢事の下田檢事々務取扱ひは午前、午後を通じて被告人辯護人を向ふに廻して大辯論を試み頭をしぼつてゐるが▼夜は夜で好きな晩酌も止めて檢察室で公主嶺某事件の取調べで兩眼を血走らせてゐる▼强さうにも見へない體だが、と言へば「なあに、ぼくの身體は心臟で生きてゐるんでネ」とまことに張り切つたものであつた

ラヂオ　けふの番組

十六日(月曜日)　(M・T・C・Y 新京放送局)

朝

六、五〇 ラヂオ體操(東京)
七、一〇 氣象通報(東京)　入港船のお知らせ(大連)
七、一五 語學レコード
七、四〇 朝の音樂(レコード)
童謠
一、おしやれ小狐
二、お土産三つ　平井英子
三、花嫁お月さん　福田信子
四、タンタン田圃道
五、雀と千代紙　相良久美子
八、三〇 經濟市況(東京)
八、四〇 建國體操
九、四〇 經濟市況(大連・新京)
一〇、〇〇 家庭講座
可愛いゝお子さん達の爲に守つて戴きたい交通道德　新京警察署保安係主任 小林定義
一〇、二〇 料理獻立(奉天)
一〇、三〇 家庭メモ
一〇、三五 經濟市況(大連)

晝

一〇、四〇 經濟市況(東京)
一〇、五九 時報(東京)
一一、四〇 ニュース(東京・新京)
〇、〇一 經濟市況(大連・新京)
〇、二〇 晝の演藝(レコード)
第一部合奏
一、萩の露　幾山檢校作　三絃 宮城道雄　尺八 吉田晴風　箏 牧瀬喜代子
二、八重衣　石川勾當作　三絃 福田きく　尺八 荒木古童　箏 河田登宇
第二部獨唱
一、五日祭　關屋敏子
二、うたたねから傘　石森延男作詞　村岡樂童作曲
一、物思ひ　加藤まさと作詞　關屋敏子作曲　藤原義江

二、草笛　勝田香日作詞　杉山長谷夫作曲
一、グリッチングの町　杉山長谷夫作曲
ペナッキー作曲
二、ゆりかごの歌　弘田龍太郎作曲　ベルトラメリー能子
二、〇〇 經濟市況(大連・新京)
二、五〇 經濟市況(東京)
三、〇〇 ニュース(東京・新京)
三、三〇 經濟市況(大連・新京)
四、二〇 ニュース(鮮語)
流行歌(レコード)
一、灯の消へた港口
二、涙の海峽
三、國境の夜
四、七仙女
五、鴨綠江の船頭
五、〇〇 子供の時間
お話 鮫と闘ふ少年　川村三郎
六、海棠花
七、若いものの春
五、二〇 コドモの新聞(東京)　村岡花子
五、二五 趣味講座　美術と人生　小林萬造
五、五五 カレントトピックス(東京)
六、〇〇 ニュース(東京)
ニュース・告知事項・番組豫告(新京)

夜

六、三〇 講演(東京)「國有林の沿革と其の使命」　農林大臣 島田俊雄
七、〇〇 常磐津(東京)
常磐乃老松　淨瑠璃 常磐津仲登良　同 常磐津仲登美　同 常磐津仲常　三味線 常磐津仲代　上調子 常磐津仲陸
七、三〇 箏曲(東京)　佐藤美代勢
1 四季の詠
2 からかさの雪
七、五〇 歌謠物語(東京)
愁夜曲　北村壽夫作　石田一郎作曲
物語 江戸川蘭子　合唱 花井咲子 清水京子　同 市村菊子 東洋子　朗讀 草間光子 對馬洋子　歌手 歌上艶子 靜浦きよ子　同 伊澤蘭子 志摩佐代子
(ハープ伴奏本加すみれ子　演出JOAK文藝部)
八、三〇 時報・ニュース(東京)　ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告(新京)
九、〇〇 新内　明烏夢泡雪(浦里雪責の段)　富士松佐賀美
九、三〇 ニュース再放送
一〇、〇〇 北滿の時間(哈爾濱)

歌謠物語 愁夜曲

江戸川蘭子・市村菊子外　後七・五〇 東京

歌謠物語についても、いろんな形があると思はれる。が今度は、今までのやうに、歌謠を物語の一部とはせずに、全くきりはなして、一つの效果としてのみ使つてみた愁夜曲といふ一篇の形式の中に、二つの物語がある。二つの物語を包むに、一つの主題歌的な歌謠をもつてする、といつたいはゞ、スタイルの新らしい意圖である、中の二つの物語も、二つとも秋のものである。

出演の人々は、松竹少女歌劇のスターたち少女歌劇團の人たちが、いつものその雰圍氣から全く違つた、別のものを試みるといふところにも、意義と興味は見出されやう。作者も作曲も演出者も、すべて少女歌劇團の人ではない。いはゞ、出演の少女達も、今度は、少女歌劇の子供たちとしてではなく、物語手として或ひは聲樂家としてそれぞれの愛らしきエキスパートとしてその技能を發揮するのである。いかによくやるか、興味と期待はかかつてここにあるのである。ともあれかうした種目がその全體の形式として若い近代的なある層へのマッチをかち得たら、共々に心うれしい限りである。

主題歌

過ぎし昔と思へども
忘れかねたるかの人よ
たゞかりそめに爭いて
花の木の間に別れしが
落葉ふみつゝ歸り來し
人の姿ぞかなしけれ
をとめながらの尼法師
その名もさびし秋といふ……

物語 遠き木犀

許嫁の野木は、繪の勉強にフランスに行つてゐた。その戀しい野木が日本へ歸つて來るといふ嬉しい便りである。

彼女は、いそいそと横濱の港へ迎へにいつた。

が、着いた船からは、野木は降りて來なかつた、そのかはりに、ひとりの美しい令孃が、船から降りて、彼女のそばへ近づいて來た。

二人は初對面だつたが……

「……野木さんは、マルセーユで乘船間際に、急病でおなくなりになりました」

女は、かういつて、野木からの言傳を彼女に傳えた。

何といふ不幸であらう。

幾日かして、彼女は、誘はれたままに、小石川の高臺にその令孃の邸宅を訪れた。

女は、いろいろ向うにゐた時の野木の樣子や、ニース地方へ旅行をしたときの思ひ出を語つてくれた。

彼女には、令孃と野木との間にとある疑惑を抱いて惱んで來た。

ある日、二人の女は、不忍の池のほとりで靜かに語り合つた。それは、展覽會に飾られた野木の遺作を見ての歸りだ。そのとき、令孃は、初めて、野木を愛してゐたことを告白した。しかし、それは片戀で……

「野木さんは、やつぱり、あなたのものでしたわ」

彼女は、令孃のしほらしい姿から涙がこぼれた。二人の女の手と手は、いつか、握り合はされてゐた。

さびしく美しい秋の處女たち……

物語 友への手紙

親しい友へあてた手紙の形の物語……。

つまらないレヴュー團のスターである少女は、いま、興行に來てゐる仙臺の町で、探したづねてゐた父を見出したのである。それは、佗しい慈善病院のベッドの上だつた。

少女は、かつて、舞踊家である天才的の父から、手ほどきをしてもらつた。父は少女を愛し、一心に教えた。

少女に、踊りがうまくなると、心の悪魔に誘はれて、町へ出て、大ぜいの人々の前で踊りたいと思つた。花束、喝采、拍手、そんな華やかな世界が、若い彼女をしきりに誘ふのである。

父はたつてとめた。純粹な藝術のために最後まで魂を賣るなと言つた。

が、少女は、とうとう、自分で淺草あたりの、小さいレヴュー團に身を賣つてしまつたのである。そこでは彼女は忽ちスターになつた。が、彼女が、こんな華やかなスタートをきつた時父は悲壯な手紙をのこして家出してしまつたのである。

少女は、落魄した哀れな父を見出すと、たいへん、過去を後悔したそして明日にも、この世界を去らうと決心した少女は、友への手紙をかきつゞける。

第二の出を知らせるベルがせきたてるやうに鳴りわたる佗しい樂屋の秋の一夜である

新内 明烏夢泡雪(あけがらすゆめのあはゆき)……雪責の段……

後九・〇〇 新京より　富士松 佐賀美

(歌詞)「嚴しけれ。内には亭主が浦里を、庭の古木に括りつけ、折節降り來る雪吹雪、箒おつ取り打つ音に、禿みどりが取付いて、詞「申し旦那さん、ソウ御勘忍なされませ。と、嘆く禿も共縛り、浦里涙の顔振上げ詞「妾は是非もなし、みどりに何の咎あつて、あの子は赦して下さんせ。と、言へば亭主も不懲さと、思へどわざと聲荒く詞「こりやヤイ浦里、客を取く事客の爲、女郎大切、身代が大事、あまり繁々通はれては、親類方の手前、勘當受け、主持ならば身は知れた事。この程年切返しもあれ客衆ぢやとある。この上は心中か駈落か、身の行末までが不懲さ故、假令敵の末にもせよ、我拘へとなりし女郎、殊に禿の中より器量は人に優れたれば、他の子供と違ひ心を注けて育てしもの、何の憎い事があらう。此處をよう辨へて、思ひ直して奉公せよと、度々意見を加へても、夫を夫とも聞入れぬ、其苦しみも心納、おのれが罪おのれを責むる、みどり奴もおのれが使ふ禿なれば、他の者への好き見せしめ……

今晩の新内、富士松佐賀美さんは江戸ッ子で、東派の前名富士松佐賀太夫事現在の富士太夫師の御弟子、現在はダイヤ街の料亭桃園の姐さん株で名はりん子と名乘つて居られます。(寫眞は富士松佐賀美さん)

妖魔往來　桃川燕一演　内山鉦太郎畫

(上映禁上演)

一〇二

八郎は、言葉を續けて、いひました。

「斯程まで苦心をしたのであるから、貴樣も素直な話をして身共を江戸へつれて參れ、それを彼是云ふなら止むを得ぬ一刀兩斷手を見せぬが何うだ」

久太郎默然として考へてゐたが

「かうなれば背に腹は替へられない、好うございます、驛宿の大藏さんのゐる所へ御案内致しませう」

「ウムよく承知してくれた、それでこそ苦勞の甲斐があると申すもの、シテ大藏は江戸の何處に居るな」

「八丁堀の仲町、女衒の大阪屋熊吉方に居ります」

ウーム、其大藏がお志津と申す十七八歳になる綺緻のよい娘をつれてゐるだらうな」

「ヘエ素晴らしい別嬪を一人、大阪屋の二階に閉じこめてございます、何でも大藏さんの友達の駒場の安五郎と云ふ人の玉ださうで、好い口を見付け女郎に賣るのですが、金高が餘り張りますので早速相手がないやうでございます」

「イヤお志津が居てさへくれゝばこんな喜ばしい事はない、それでは急げ」

ふたりは江戸へ向つて乘こんで來ます、途中で鶴島屋久太郎、八郎が物服でないと分つてくるとお鯉の事が急に心配になり始めた。

「アノ御一緒だつた御新造は何うなさいました」

「アレか、彼れは上州の倉賀野へ往つた、君松屋へ逗留して身共の行くのをまつて居るだらうが、身共はアノ女に用がない」

「ヘエ彼れは全體何處のお方でございます」

「アノ女中は宇都宮の去る家の御新造だが、チト身持が惡くてな」

「身持の惡いのは結構ぢやございませんか、あなたは彼れを何うかして居なさるでせう」

「イヤ何うもせんよ、鶴島屋の前だがアノ女中が身どもに戀慕して頻に跡を追はれる、虚無僧に姿を替へて歩いたのもアノ女中の眼を晦まさん爲めだつた、ところが運惡く小山の宿でつかまつて大きに閉口したのだ、貴樣が上州の高崎の飛脚屋だと偽つてゐたのが幸ひとなり、跡から行く約束で欺して追つ拂つた譯さ、イヤ何うも執ねく女に附まはされる程迷惑なことはまたとないな」

お互に心が知れたので打解けてこんなことを話しながら道中をする

「スルト女中さんは待惚でまちぼけ喰ふのですなあ氣の毒な」

「少し強く藥が利いてゐるから四五日は君松屋で退屈がることだらう」

「ヘエ」

鶴島屋久太郎腹の内で喜んだ、御新造は虚無僧を追ひまはしたが虚無僧ににげられて上州倉賀野で一人ポッチで淋しがつてゐる、乃公がはやく江戸へ歸つて此虚無僧を擬放し、直に立つて夜を日について、上州へ行つたら大概其頃までは御新造は逗留なさるに違ない、そこへおれが乘こんで甘くやれば事によるとアノ御新造はこつちのものになるかも知れない、これはうまい綿口が付いたぞ、何にしても早くこの虚無僧の手を切らなくてはいけない、かう思ふと足の進みも早く次の日は兩人江戸へはいつて來ました、八丁堀仲町とある路次口に立つた鶴島屋久太郎

「大阪屋熊吉の家は此路次をはいつて右側二軒目でございます手前が先へはいつて使ひの返事を致します、あなたはそれを聞いてはいりになるが好うございます、手前はそれでお暇致しますから」